

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405860194Z1	科目番号 / Course code	05860194
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12331_006		
授業科目名 / Course title	●教育社会・制度論[上限外] / Educational System and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 酒井 友文		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 酒井 友文		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化、経済、工学、環境、水産学部教育免許状取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	入試課 中川教員研究室		
担当教員TEL/Tel	研究室 095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜から金曜日までの午前中		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業は近年の社会状況と教育政策の動向を踏まえながら、教育にまつわる問題を考察し、実際の教育現場において生徒に対するどのような教育や支援を行えばよいかをともに検討していく。 また、戦後から今日までの日本の教育行政及び制度が社会的な背景と共にどのように変遷したかを学習するとともに、現在、国が打ち出している様々な教育施策が、学校現場でどのように展開されているのかを理解する。 さらに、学校内外で想定される事件、事故、災害等に対し、安全管理及び安全教育の視点からどのように子供たちの心と命を守るかを具体的な事案を通して考察する。また、次代を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むために学校と家庭、地域社会等との連携・協働の取り組みを実践例をもとに考える。		
授業到達目標/Course goals	学校と社会のつながりや学校を取り巻く様々な課題を理解することができる。 キャリア教育を念頭においた指導上の課題及び問題を抱えている生徒に対する指導上の課題を理解することができる。 B近年の教育政策(特にキャリア教育、全国学力・学習状況調査等)の動向を理解している。 C日本の公教育の原理および理念を理解し、説明できる。 D戦後からこれまでの教育関係法規の変遷を理解し、説明できる。 E現在の教育制度を支える教育行政理念と仕組み理解し、説明できる。 F子どもの心と命を守るため学校、関係機関等が連携・協働し取り組む重要性について理解する。 G社会に開かれた学校教育の必要性と具体的な取組について理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(中島担当分) 毎回の授業後に提出する課題 (100%) (中川担当分) 授業及び協議への参画態度 (10%), レポート (90%) (酒井担当分) 演習成果資料・レポート (90%), 授業及び協議への参画態度 (10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・基本的に講義式の形態をとりながら、グループで議論する時間を取ります。 ・事前に調べたり、まとめてレポートにする課題を与えます。(4h)
キーワード/Keywords	過去と現在の教育行政を知る。
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。毎回の授業で資料を配布する。 参考書・参考資料等 学習指導要領(文部科学省)、長崎県振興計画、「危機管理マニュアル」(長崎県教育委員会)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	15回の講義に毎回、出席すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	この授業はすべて対面j授業です。
学生へのメッセージ/Message for students	共に教育行政について学びを深めましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	中川幸久: 高等学校(教頭, 校長), 県教育委員会(教育次長): 人事管理と教育行政 酒井: 小学校(教頭, 校長), 市教育委員会(教育部長): 人事管理と教育行政
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	学校とは何か(担当: 中島)
第2回	学力・意欲の格差(担当: 中島)
第3回	昭和(戦後)からの教育関係法規の変遷と社会的背景 (担当: 中川)
第4回	昭和(戦後)からの教育関係法規の変遷と社会的背景 (担当: 中川)
第5回	進路選択トラッキング教育制度、生徒文化(担当: 中島)
第6回	教育の公共性と私事化ー教育は誰のものか(担当: 中島)
第7回	昭和(戦後)からの学習指導要領の変遷と社会的背景 (担当: 中川)
第8回	教育基本法と教育三法の改正とその理念(担当: 中川)
第9回	教育問題(担当: 中島)
第10回	教育再生実行会議の提言と教育改革(第一次から第十二次提言) 教育未来創造会議の提言と改革(担当: 中川)
第11回	学校における危機管理 (担当: 酒井)
第12回	学校における危機管理 (担当: 酒井)
第13回	学校, 関係機関が連携した危機管理対応(担当: 酒井)
第14回	学校, 家庭, 地域社会の連携(担当: 酒井)
第15回	社会に開かれた学校教育(担当: 酒井)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405860309Z1	科目番号 / Course code	05860309
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12311_006		
授業科目名 / Course title	●教育原理(教育課程の意義及び編成の方法の内容を含む。)[上限外] / Principle of Education (Including the Meaning and Formation of Curriculum)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山岸 利次 / Yamagishi Toshitsugu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山岸 利次 / Yamagishi Toshitsugu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山岸 利次 / Yamagishi Toshitsugu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化、経済学部、工学、環境、水産学部の教員免許状取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Eメールアドレス。 t-yamagishi▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部219研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問や面談のアPOINTはEメールにて行ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、教員免許状の取得を目指す学生に「教育理念」「教育史」「教育思想」そして「教育課程」について教職員に必須の内容を理解してもらうことです。学問の意義の核心は日ごろ私たちが見聞きする現実をいかに分析するかにあります。本授業は「教育理念」「教育史」「教育思想」そして「教育課程」の観点から、教育学がいかにして事実を分析するか、そのことについて受講生と考えていくものです。		
授業到達目標/Course goals	1 現代日本の教育を規定している教育理念を説明できる。 2 現代の教育の在り方を規定している教育思想について説明できる。 3 現代の教育の在り方を規定している教育史的事実について説明できる。 4 現代日本の学校教育の教育課程の特徴を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(20点×2回)+学期末試験(60点)=合計100点のうち、60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: あらかじめレジュメを配布しますので、レジュメを読み、わからない用語等につき調べてお いてください(2h)。 復習: レジュメを熟読し、講義の内容を振り返ってください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育理念、教育思想、教育史、教育課程		
教科書・教材・参考書/Materials	大家まゆみ、本田伊克他『これからの教職論—教職課程コアカリキュラム対応で基礎から学ぶ』(ナカニシヤ出版、2022) 子どもの権利条約市民・NGOの会『国連子どもの権利条約と日本の子ども期—第4・5回最終所見を読み解く』(本の泉社、2020年) 日本教育法学会『コンメンタール 教育基本法』(学陽書房、2021年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-mail）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面方式で行います。状況によって変更がある場合は、LACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	日本の教育は現在進行形で変わりつつあります。新聞やTV、インターネット等で教育関係の報道をしっかりとキャッチしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	日本の高等教育の現状と課題
第3回	教育課程の制度と学習指導要領の歴史
第4回	新学習指導要領と「学力」
第5回	現代の教育問題としての「いじめ」
第6回	いじめ防止対策の法制度と学校
第7回	「教」・「育」の語源学
第8回	"education"の概念史
第9回	西洋における公教育の成立
第10回	西洋における公教育の展開
第11回	日本における公教育の成立
第12回	日本における公教育の展開
第13回	ケアとしての教育
第14回	「子どもの権利条約」と日本の教育
第15回	まとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405860311Z1	科目番号 / Course code	05860311
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15241_005		
授業科目名 / Course title	●教育心理学[上限外] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	湯 立 / Tang Li		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	湯 立 / Tang Li		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	湯 立 / Tang Li		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化、経済、工学、環境、水産学部の教員免許状取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	litang@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日3校時(事前にアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	幼児、児童および生徒の心理的発達、学習過程に関する基礎的な知識と代表的な理論を理解することを目的とする。講義形式とグループ学習による発表形式で授業を展開する。		
授業到達目標/Course goals	・幼児、児童および生徒の心理的発達に関する基礎的な知識について理解し、説明できる。 ・記憶のメカニズムや動機づけに関する代表的な理論について理解し、説明できる。 ・教育心理学の視点から、児童生徒の行動について理解し、説明できる。 ・幼児、児童および生徒の心理的発達の特徴を踏まえ、主体的な学習活動を支える支援について考察できる。 (対応する全学DP: 専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習復習課題への取り組み(20点) + 内容理解確認小テスト(30点) + グループ活動と発表(25点) + 最終レポート(25点) = 計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】キーワードや学習テーマについて調べる。学習発表の資料(事前にLACSにアップ)を読んで理解する。学習内容についての質問を考える(各回2時間)。 【事後学習】学習した内容に関するマインドマップを作成する。興味のある関連内容について調べ、マインドマップを充実させる。内容理解確認小テストの問題を作成し、提出する(各回2時間)。 【発表準備】グループで調べ学習に取り組み、内容をまとめ、発表資料を作成する。パワーポイントによる発表の練習を行う(合計20時間) 【レポート作成】15回の学習内容について、自分が最も興味を持ったテーマを1つ選び、レポートを作成する(合計20時間)。		
キーワード/Keywords	教育心理学, 発達, 認知, 情動, 社会性, 学習, 記憶, 動機づけ, 学習評価		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定せず、毎回レジュメを配布する。授業内容関連の文献は、授業中に適宜紹介する。 < 参考書 > 藤原和政・谷口弘一（編著）（2021）学校現場で役立つ教育心理学：教師をめざす人のために 北大路書房。 鹿毛雅治（編）（2012）モチベーションをまなぶ12の理論 金剛出版。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考/Remarks	基本的に対面授業を行うが、指定感染症が流行した時期には、リアルタイム・オンライン授業を行うこともある。
学生へのメッセージ/Message for students	主体的で楽しく学びましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業ガイダンス（授業概要の説明 / 調べ学習のテーマ紹介 / グループ分けとテーマ選択）[対面授業]
第2回	教育心理学の考え方（教育心理学とは？ / 教育心理学を学ぶ意義 / 教育心理学の歴史 / 教育心理学の研究手法）[対面授業]
第3回	発達概念と理論（発達とは？ / 発達の原則 / 遺伝と環境の影響 / さまざまな発達理論）[対面授業]
第4回	言語の発達（聞く・話すの発達 / 読み書きの発達）[対面授業]
第5回	認知の発達（概念理解の発達 / 心の理論の発達 / 知能とその発達）[対面授業]
第6回	情動の発達（情動理論の発達 / 情動制御の発達 / 情動コンピテンス）[対面授業]
第7回	社会性・道徳性の発達（アタッチメント / 共感性の発達 / 道徳性・向社会的行動の発達）[対面授業]
第8回	学習のメカニズム（条件づけとその応用 / 認知主義的学習理論）[対面授業]
第9回	記憶とメタ認知（記憶のメカニズム / 記憶方略 / メタ認知）[対面授業]
第10回	動機づけの基礎（動機づけの概念と特徴 / 動機づけの測定 / 動機づけの要因 / 接近動機づけ・回避動機づけ）[対面授業]
第11回	動機づけの展開 （外発的動機づけ・内発的動機づけ / 自己決定理論）[対面授業]
第12回	動機づけの展開 （期待一価値理論 / 目標設定 / 達成目標理論）[対面授業]
第13回	動機づけの展開 （有能感 / 楽観主義・悲観主義）[対面授業]
第14回	非認知能力（誠実性 / 自己制御 / グリット / 好奇心 / レジリエンス）[対面授業]
第15回	学習指導と学習評価（さまざまな学習 / 個に応じた学習指導 / 協働的な学び / 学習評価）[対面授業]

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405860311Z2	科目番号 / Course code	05860311
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15241_005		
授業科目名 / Course title	●教育心理学[上限外] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 湯 立 / Tang Li		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	前原 由喜夫 / Yukio Maehara		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	前原 由喜夫 / Yukio Maehara, 湯 立 / Tang Li		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学部2年生以上(下記「受講要件」参照)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymaehara▲nagasaki-u.ac.jp(前原; ▲を@に置き換えてください) litang▲nagasaki-u.ac.jp(湯; ▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	教育学部212号室(前原) 教育学部222号室(湯)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜4校時(前原) 木曜3校時(湯) 事前にアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では, 人間の生命が誕生して成人になるまでの各発達段階における心理的特徴の概要を学ぶ。私たち人間は時間の流れとともに常時変化を続けているため, ただ一時点の心理的特徴のみを観察しただけでは真に人間の心を理解することはできない。したがって, 人間の長期的変化(=発達)にともなう心の変遷を学ぶことが必要である。また, 発達の過程は人それぞれ異なるので, 発達の一般的な過程を学ぶことは, 自分個人の体験してきた成長の過程を振り返っただけでは知ることのできない, 子どもの発達の一般的法則を知ることにもなる。人間の発達を学習し, 各発達段階における心のはたらきの特徴や問題を理解することは, 学校における子どもの教育に役立つだけでなく, 自分が親となったときの育児の参考にもなる。さらに, 教育心理学や発達心理学の知見は, 私たち大人が子どもの心身の発達によりよい影響を及ぼすための教育方法・教育政策を考える際にも, 非常に大切な基礎知識となるだろう。		
授業到達目標/Course goals	1. 子どもの心身の発達過程と学習のメカニズムの基礎を説明できるようになる。(対応DP: 専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し, 高い倫理観を身につけている) 2. 授業中課題への取り組みやレポートの作成を通して, 自分の知識や考えを, 筋道立ててわかりやすく, 論理的に表現できるようになる。(対応DP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる) 3. 教育現場において優しくたくましい子どもを育てるにはどのような実践・支援が必要かを, 心理学の知見にもとづいて考えられるようになる。(対応DP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	2名の教員(前原・湯)がそれぞれ課題やレポートを50点分ずつ出題し, 合計60点以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】次の授業あるいは今現在のテーマに関して、事前にインターネットなどを調べて予習しておく（1時間×15回）。授業時間外に課す小課題は忘れないよう必ず行うこと（1時間×15回）。その際、他の受講生たちに課題があることを教えるなど助け合いの精神が大切である。 【事後学習】授業で学習した内容でわからないことがあれば、他の人に聞くなり自分で調べるなりして疑問を解消し、人間の心の発達に関する理解を深める（2時間×15回）。
キーワード/Keywords	教育、心理学、子ども、発達、認知能力、動機づけ
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定しない。教育心理学についてもっと勉強したい人は、一般的内容を広く扱っている下記の参考図書をはじめ、自分の興味・関心のあるテーマの本を読んで積極的に知識を広げてほしい。 <参考図書> 無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治（2018）. 心理学 [新版]. 有斐閣. 鹿毛雅治（編）(2012). モティベーションをまなぶ12の理論—ゼロからわかる「やる気の心理学」入門！ 金剛出版. 多鹿秀継・上淵寿・堀田千絵・津田恭充（2018）. 読んでわかる教育心理学. サイエンス社.
受講要件（履修条件）/Prerequisites	第2Q開講の「教育心理学」を履修することができない2年生以上のうち、今年度中に「教育心理学」を履修しなければ留年するといった事情がある学生 補講や追加課題を含め、最後まで授業に参加することが確約できる学生
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面授業を行うが、体調不良の学生が多いときや指定感染症が流行した時期には、リアルタイム・オンライン授業やオンデマンド授業を行うこともある。
学生へのメッセージ/Message for students	日本の子どもの数は年々減り続けており、したがって社会のさまざまなインフラやサービスを支える生産年齢人口も減少の一途をたどっています。そのような社会では、私達一人ひとりが真剣に自らの能力を伸ばす努力を積み重ね、新たな価値を生み出す知恵と技術を身につけなければ、今の生活水準を維持していくのは難しくなるでしょう。教育心理学は教職に役立つだけでなく、学ぶ人自らの考え方に変化を与え、成長する可能性を引き出してくれる学問です。教師を目指すかどうかに関係なく、授業を通して自分自身の内面を見つめ、自分がどのように変わればもっと成長できるのかを発見してもらえると嬉しいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに（履修上の注意点、心理学を学ぶ意義を考える、自分の発達をふり返る）[前原]【対面授業】
第2回	胎児期と新生児期（胎児期の心の発達、胎内環境の影響、新生児期の発達など）[前原]【対面授業】
第3回	ワーキングメモリと実行機能の発達および教育への応用 [前原]【対面授業】
第4回	乳幼児期（顔の認知、赤ちゃんのかわいさ、アタッチメントの発達など）[前原]【対面授業】
第5回	乳幼児期（心を読む心の発達、視線理解の発達、素朴理論など）[前原]【対面授業】
第6回	心の理論の発達 [前原]【対面授業】
第7回	発達障害（ADHD）[前原]【対面授業】
第8回	発達障害（自閉症）[前原]【対面授業】
第9回	児童期（知能の発達、言語と思考の発達など）[湯]【対面授業】
第10回	感情と情動制御の発達 [湯]【対面授業】
第11回	児童期（自己意識の発達、仲間関係の変化、10歳の壁など）[湯]【対面授業】
第12回	自己制御と動機づけの発達 [湯]【対面授業】

第13回	青年期 （思考と感情の発達，身体とジェンダーなど）〔湯〕【対面授業】
第14回	青年期 （自己とキャリアの発達，アイデンティティ，未来自己など）〔湯〕【対面授業】
第15回	心理学と隣接領域の理論・方法論〔湯〕【対面授業】

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405870369Z1	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	●教育相談[上限外] / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化、経済、工学、環境、水産学部の2年次以上の教員免許状取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける 木曜日・金曜日5限 面談中の場合もあるため、メールでアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	○教育相談の意義や役割について説明することができる ○実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 ○相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での参加度(30%)、授業ごとの小レポート(45%) 最終レポート(25%) 合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予めレジュメや資料を配布しますので、それらに目を通したうえで不明な用語を調べ、講義に臨むようにしてください(2h)。授業終了後は、資料やレジュメを再読し、レポートにまとめるなど理解を確実にするように努めてください(2h)。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書： 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望みます。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	感染拡大等により指示がない限り授業は対面で行います。		

学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美/スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー、/いじめ・暴力行為など児童生徒の問題行動、不登校等への対応について、発達障害等野路同性との個別の支援について等 /長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割 (対面)
第2回	カウンセリングの基本技法 (対面)
第3回	学校現場の諸問題 (不登校等) への理解 (対面)
第4回	学校現場の諸問題 (いじめ等) への理解 (対面)
第5回	学校現場の諸問題 (発達障害等) への理解 (対面)
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント (対面)
第7回	課題を抱える子ども (保護者) のためのカウンセリング技法 (対面)
第8回	課題解決のための演習 1 (問題の焦点化) (対面)
第9回	課題解決のための演習 2 (問題の深化) (対面)
第10回	課題解決のための演習 3 (問題とその対応についての発信) (対面)
第11回	発表 1 (対面)
第12回	発表 2 (対面)
第13回	振り返り 1 (対面)
第14回	振り返り 2 (対面)
第15回	危機介入 (対面)
第16回	最終レポート (各自)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0, 2.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405880004Z1	科目番号 / Course code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Course title	●教育方法・技術論[上限外] (2021年度以前入学者) / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka, 瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka, 瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	(令和3年度以前入学者対象) 多文化、経済、工学、環境、水産学部の2年次以上の教員免許取得希望者 この授業は、令和4年度以降入学者用の ・若菜担当：教育方法・技術論 (1単位) 1Q、水3・4開講 ・瀬戸崎担当：ICT活用の理論と実践 (1単位) 2Q、水4開講 を2つ併せて受講する形になっており、どちらも受講して成績評価基準を満たさなければ、単位は成立しません。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	若菜：nagasakicom4▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください) 瀬戸崎：setozaki▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	若菜：非常勤講師室 瀬戸崎：研究開発推進機構2階		
担当教員TEL/Tel	若菜：095-819-2078 (教養教育事務室) 瀬戸崎：095-800-4189		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントを取ってください。 瀬戸崎：月曜4限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。 ICTを活用した教育方法、教育技術をめぐる基礎理論を踏まえて、教育活動をささえる授業、学習観、教授・指導観、学習環境、教師としての成長を支援する省察といった、重要なテーマについての理論を確認するとともに、統合型校務支援システムの有効活用にも言及しつつ、今日の実践的課題を追究する。		
授業到達目標/Course goals	1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。(基礎的知識を身につける) 2. PCなどを活用して教材を作成することができる。(汎用可能な技能を身につける) 3. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。 4. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。(他者とも協働し指導案を検討する) 5. 知識・理解：ICTを活用した教育方法の理論と実践に関して、これまでに蓄積されてきた知見を知る。 6. 知識・理解：ICTを活用した教育方法の理論と実践に関して、これまでに蓄積されてきた知見の背景や文脈を理解するとともに、ICTを活用した校務の推進について理解する。 7. 専門的技能：ICTを活用した教育方法の理論と実践に関して、これまでに蓄積されてきた知見が、現代の子どもたちにとって適切かどうかを考えることができる。 8. 専門的技能：ICTを活用した教育方法に関して、これまでに積み重ねられてきた知見をふまえて、今日の教育実践や校務を支えるシステムをクリティカルに考えることができる。		

知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	若菜：課題60%（個人＋グループワーク）、期末試験40%の配分で評価する。 瀬戸崎：授業への参画態度30%，授業内ワークシート30%，学期末レポート40%で評価する。 若菜担当及び瀬戸崎担当を合わせて総合的に100点満点で評価し、60点以上で合格とする。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前にLACS上に資料を掲載するため、予め読んでくること(2h) 事後に各回での授業資料の要点をまとめること(2h)
キーワード/Keywords	授業設計、教材開発、ICT活用、教育方法、授業、学習観、学習環境、省察
教科書・教材・参考書/Materials	【若菜担当：参考図書】 教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著（北大路書房） 学習者とともに取り組む授業改善－授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著（学文社） 【瀬戸崎担当：参考書】 稲垣忠・佐藤和紀『ICT活用の理論と実践 DX時代の教師を目指して』北大路書房，2021年．
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。 詳細は授業時やLACSで案内します。また、状況によって変更がある場合も、LACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 - 2 回	（若菜） 「教育方法・技術論」の目標と概要、特に、この授業展開の中心となる「教育工学」に関する解説を行う。 また、生徒に求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）、教育方法の基礎的理論と実践を理解する。
第 3 - 4 回	（若菜） 基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態（アクティブラーニング技法・協同学習の方法）、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成するため授業構想の検討、教材研究の方法について理解する。

第 5 - 6 回	(若菜) 評価の方法、評価計画の立案(評価の観点と基準)について理解する
第 7 - 8 回	(若菜) 生徒たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、ICTを利用した教育の方法、その活用のための情報モラル、デジタル教材作成法について学び、デジタル教材作成の実践(グループワークを含む)に取り組み発表する。
第 9 回	(瀬戸崎) <Society5.0を見据えた教育の未来> Society5.0の社会を想定した上で、学びの在り方や求められる人物像について考察する。また、共通して求められる力や、新たな社会を牽引する人材としての資質・能力の育成について議論し、学びの在り方の変革について考察する。
第 10 回	(瀬戸崎) <現代社会におけるICTの役割> 私たちの日常生活とテクノロジーとの関わりについて考察するとともに、少し先の未来についてイメージする。さらに、現代社会の教育における課題に目を向けるとともに、メディア社会の光と影についての議論を深める。
第 11 回	(瀬戸崎) <ICT活用の基本的理念> ICT環境の必然性について、歴史的経緯や理論的基盤について解説する。また、知識獲得や運用の観点などから、本質的なICT活用について議論する。さらに、「主体的・対話的で深い学び」について、その背景や必然性、原理、手法について学ぶとともに、ICT活用とアクティブラーニングとの関わりについて、授業デザインの観点から考察する。
第 12 回	(瀬戸崎) <教育における先端技術の活用・STEAM教育> 先端技術を活用する意義について考察するとともに、教育ビッグデータやAI、VR/ARの教育利用について、具体的な事例をもとに学ぶ。また、STEAM教育による教科横断的な学びについて、実践的な視点から議論を深める。さらに、先端技術の活用やSTEAM教育の実現に向けて、企業や自治体、大学等の教育機関との連携についても視野に入れた、実社会における課題解決における授業デザインについて検討する。
第 13 回	(瀬戸崎) <教師および児童生徒のICT活用> ICT活用の実際について、教育目的との関連から紹介する。また、特別の支援を必要とする児童及び生徒に対するICT活用の意義と実践的な事例を示すことで、多様な学習に向けたICT活用について検討する。さらに、他者とのコミュニケーションを広げる場としてのICT活用や、表現の可能性を広げるツールとしての活用、思考を深めるための活用などに着目した議論を展開するとともに、統合型校務支援システムの有効活用についての理解を深める。
第 14 回	(瀬戸崎) <児童生徒の情報活用能力の育成> 一人一台端末による児童生徒の学びを中心に情報活用能力の育成を目指した実践事例について議論する。また、プログラミング教育等に言及し、Society5.0に向けた資質・能力の育成について考察を深める。さらに、情報モラルや、情報セキュリティについても具体的な事例をもとにした指導について議論する。
第 15 回	(瀬戸崎) <学びを育てるICT環境> ICTを活用した学習環境のデザインの紹介を通して、学びが育つ環境デザインの重要性について言及する。なお、学校内の人材や教材のみの活用に留まらず、ICT支援員などの外部人材や大学・企業・自治体等の外部機関と連携することによる、学習環境の構築についても議論しつつ、学校におけるICT環境の整備の在り方について検討する。また、主体的・対話的で深い学びを実現しようとする際の初等・中等教育段階における学校自体の構造設計などについても思考を広げる。
第 16 回	(瀬戸崎) <省察の意義と本講義のまとめ> 教育活動における省察の重要性について学ぶとともに、振り返りのプロセスについて学ぶことによって、児童生徒だけではなく、教師としての成長について考察する。また、これまでの講義で学んだ内容をまとめるとともに、受講生間による学びの共有と議論によって、本講義における学習内容について考察を深める。

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405880007Z1	科目番号 / Course code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11211_006		
授業科目名 / Course title	●生徒・進路指導論[上限外] / Academic and Career Guidance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	酒井 友文, 西村 大介 / Nishimura Daisuke, 林田 和喜 / Hayashida Kazuki, 靄田 圭子 / Tsuruda Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	酒井 友文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	酒井 友文, 西村 大介 / Nishimura Daisuke, 林田 和喜 / Hayashida Kazuki, 靄田 圭子 / Tsuruda Keiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目, 査定外		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教職希望の工学・多文化社会・経済・環境科学・水産学部2年次以上		
担当教員メールアドレス/E-mail address	tomohumi▲nagasaki-u.ac.jp(酒井) k-nonaka▲nagasaki-u.ac.jp(野中) kz-hayashida▲nagasaki-u.ac.jp(林田) d-nishimura▲nagasaki-u.ac.jp(西村) (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(酒井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2903		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメール対応(随時) tomohumi▲nagasaki-u.ac.jp(酒井) (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教育が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会の接点を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的な体制に必要な知識や素養を身に付ける。		

授業到達目標/Course goals	生徒指導の理論及び方法 (1)生徒指導の意義と原理 1)教育課程における生徒指導の位置付けを理解し説明することができる。 2)各教科・道徳教育・総合的な学習（探究）の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解し説明することができる。 3)集団指導・個別指導の方法原理を理解し説明することができる。 4)生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方と違いを理解し説明することができる。 (2)児童生徒及び生徒全体への指導 1)学級担任、教科担任その他の校務分掌得上の立場や役割並びに学校の指導方針及び学年指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解し説明することができる。 2)基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解し説明することができる。 3)児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を具体的に述べるすることができる。 (3)個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導 1)校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解し説明することができる。 2)暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解し説明することができる。 3)インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を具体的に述べるすることができる。 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 (1)進路指導・キャリア教育の意義及び理論 1)教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解し説明することができる。 2)学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を具体的に述べることができる。 3)進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解し説明することができる。 (2)ガイダンスとしての指導 1)職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラムマネジメントの意義を理解し説明することができる。 2)主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解し説明することができる。 (3)カウンセリングとしての指導 1)生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を具体的に述べるすることができる。 2)キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を理解し説明することができる。
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート(70%) 授業及び協議への参画態度(30%)
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	担当教員によって指示（事前学習 2 h、事後学習 2 h）
キーワード/Keywords	実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育
教科書・教材・参考書/Materials	担当者配布資料
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948

備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。状況によって変更する場合は、L A C S で連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用） / Name / Details of practical experience / Contents of course	酒井友文:小学校教員としての経験を有している。 野中光治・林田和喜:高等学校教員としての経験を有している。 西村大介:特別支援学校教員としての経験を有している。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回5月19日(日)	進路指導・キャリア教育の理念と意義(対面) 担当：酒井	A B C
第2回5月19日(日)	進路指導・キャリア教育で育てる力(対面) 担当：酒井	A B C
第3回5月19日(日)	進路指導・キャリア教育の指導の在り方(対面) 担当：酒井	A B C
第4回5月19日(日)	進路指導・キャリア教育の課題と指導の実際(対面) 担当：酒井	A B C
第5回6月8日(土)	生徒指導の意義と原理(対面) 担当：野中	A B
第6回6月8日(土)	生徒指導の実際：演習 事例研究(対面) 担当：野中	A B
第7回6月8日(土)	生徒指導の実際：演習 事例研究(対面) 担当：野中	A B C
第8回6月8日(土)	部活動の意義とその在り方(対面) 担当：野中	A B C
第9回6月9日(日)	児童生徒理解の基本(対面) 担当：西村	A B C
第10回6月9日(日)	生徒指導と学級経営(対面) 担当：西村	A B C
第11回6月9日(日)	学校と家庭・地域・関係機関との連携(対面) 担当：西村	A B
第12回6月9日(日)	生徒指導に関する法制度等(対面) 担当：西村	A B
第13回6月16日(日)	生徒指導の今日的諸課題（対面） 担当：林田	A B
第14回6月16日(日)	学校における生徒指導体制（対面） 担当：林田	A B
第15回6月16日(日)	生徒指導と教育相談(対面) 担当：林田	A B C

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405880249Z1	科目番号 / Course code	05880249
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15971_006		
授業科目名 / Course title	【Online】●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法[上限外] / Special Activities		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤井 佑介 / Yusuke Fujii, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤井 佑介 / Yusuke Fujii, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化、経済、工学、環境、水産学部2年次以上の教員免許取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-fujii▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) hirotoi▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	藤井: 教育学部213室 井手: 教育学部615室		
担当教員TEL/Tel	y-fujii▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) hirotoi▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	中学校・高等学校の教育課程における特別活動の位置づけとその役割、および目標・内容等について理解するとともに、学級活動の具体的な指導方法を理解する。また、特別活動の各内容に関してジグソー学習を行い、総合的な学習の時間に関しては課題設定に沿った模擬授業を展開する。		
授業到達目標/Course goals	1. 教育課程における特別活動の意義と役割を理解できる。 2. 特別活動の目標およびその内容を理解できる。 3. 特別活動の具体的な活動場面とそのねらいを理解できる。 4. 教育課程における総合的な学習の時間の意義と役割を理解できる。 5. 総合的な学習の時間の目標およびその内容を理解できる。 6. 総合的な学習の時間の具体的な活動場面とそのねらいを理解し、かつ表現できる。 (自ら学び、考え、主張し、行動することができる。)(主体性をもって他者と協働できる。)(地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表40%、最終レポート60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前: 各回のテーマに関する情報を新聞や書籍で予め調べてきてください(2h) 事後: 講義で取り上げたトピックスに関連した書籍や論文を探し、読んでください(2h)		
キーワード/Keywords	生徒会活動、学級活動、学校行事、合科的指導、探究、学習指導要領		

教科書・教材・参考書/Materials	『中学校学習指導要領解説 総則編』文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 総則編』文部科学省 『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』文部科学省 『高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』文部科学省 『特別活動エッセンスー望ましい人間関係づくりのために』（花書院） 必要に応じて資料を用意する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	特別活動（7コマ）を藤井、総合的な学習の時間（8コマ）を井手が担当します。 順番は入れ替わることがあります。 また、特別活動(藤井担当)は対面、総合的な学習の時間(井手担当)はオンラインでの実施を予定しておりますが、変更がある場合は適宜連絡いたします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション・特別活動とは？ （対面）：担当 藤井
第2回	特別活動の目標と内容構成と教育的意義 （対面）：担当 藤井
第3回	特別活動の指導原理とガイダンス機能 （対面）：担当 藤井
第4回	特別活動の内容の探求（生徒会活動） （対面）：担当 藤井
第5回	特別活動の内容の探求（学級活動） （対面）：担当 藤井
第6回	特別活動の内容の探求（学校行事） （対面）：担当 藤井
第7回	ジグソー学習によるグループ報告と特別活動のまとめ （対面）：担当 藤井
第8回	学習指導要領「総則」における総合的な学習（探究）の時間の位置づけ （オンライン）：担当 井手
第9回	「総合的な学習（探究）の時間」の学習指導要領的視点での理解（目標・内容構成・評価） （オンライン）：担当 井手
第10回	「統合的なカリキュラム」の基礎理論（intergated curriculumモデルの理解） （オンライン）：担当 井手
第11回	総合的な学習（探究）の時間の考え方（「アフォーダンス」と教科横断性） （オンライン）：担当 井手
第12回	総合的な学習（探究）の時間の方法（探究課題の設定と過程での思考スキルの位置付け） （オンライン）：担当 井手
第13回	総合的な学習（探究）の時間におけるICT活用とサステナビリティ（学年間・学校種間・学年度間をつなぐアーカイブの準備） （オンライン）：担当 井手
第14回	自分と地元と生徒の「アフォーダンス」をつなぐ：総合的な学習（探究）の時間の教育課程デザイン演習 （オンライン）：担当 井手
第15回	総括 （オンライン）：担当 井手

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202405880250Z1	科目番号 / Course code	05880250
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15981_004		
授業科目名 / Course title	●特別な支援を必要とする子どもの理解[上限外] / Understanding and Support for Children with Divers Needs		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyouitirou, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 西村 大介 / Nishimura Daisuke, 荻布 優子 / Ogino Yuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyouitirou, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 西村 大介 / Nishimura Daisuke, 荻布 優子 / Ogino Yuko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(教育学部以外の学部においては、教員免許必修科目として指定されています。教育学部学生は教員免許必修科目にはなりません)の学生が履修できないというわけではありません。教育学部では1年後期に開講される「特別な教育的ニーズの理解と支援」が必修になり一部は重複しますが、こちらの科目は教員構成が異なりさらに発展的、広域的な内容を扱います。)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	(代表) 高橋甲介 kosuket▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	(代表) 高橋甲介 教育学部218研究室		
担当教員TEL/Tel	(代表) 高橋甲介 095-819-2404		
担当教員オフィスアワー/Office hours	高橋: 木曜日12:00から12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	特別支援教育の対象である視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱のみならず、発達障害や軽度知的障害、虐待・マルトリートメントや貧困、外国籍等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の発達及び特性、教育的ニーズを把握し、教育課程・支援方法について理解するとともに、関係機関や保護者との連携のあり方を含めて概括する。		
授業到達目標/Course goals	特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解し、その教育課程や支援の方法を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回の振り返り用紙(50点満点)(50%)と最終レポート50点(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として、自らの障害観、子ども観について考える時間を持ってほしい。できればボランティアやアルバイトで子どもとふれあい関わった経験をメモでも良いので言語化してまとめておくこと(2h) 事後学習としては、子どもの育ちを自分の問題としてとらえるとともに、市民として、あるいは支援者として何をすべきかを考える時間を持ってほしい。また、テキストや配付資料は再読し、理解を確実にするように努めること(2h)		
キーワード/Keywords	発達障害 インクルーシブ教育 特別支援教育 教育的ニーズ		
教科書・教材・参考書/Materials	長崎大医学子子どもの心の医療・教育センター監修・吉田ゆり編著「特別な支援を必要とする多様な子どもの理解」北大路書房 を指定する(大学生協扱い)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。 なお、教養教育自由科目の教職科目に位置付けられているが、本科目については全学部（教育学部を含む）が受講可能である。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	集中講義／対面（原則的に対面授業を予定しているが、社会状況によってはオンラインへの変更もあり得る。直前まで実施についての連絡を確認してほしい。）
学生へのメッセージ/Message for students	教員免許取得希望者のみならず、ひろく履修してほしい。 本科目は、長崎大学子どもの心の医療・教育センターが、特別な支援を必要とする子どもの育ちとその支援について、医学・教育の両面から、『医教連携』をコンセプトに全学部が共修できるよう構成しています。大学病院、医学部保健学科、教育学部の教員がそれぞれの専門性をもって授業を行う、全国でも珍しい授業になっています。積極的な受講を望みます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	担当者の多くが、医学（医師としての実務）、リハビリテーション（作業療法士としての実務）、教育（教員としての実務）、心理臨床（公認心理師・臨床心理士等）として、特別な支援を必要とする子どもとその保護者の支援にかかわる実務経験を持っています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション/発達障害支援の動向（教育学部教員/子どもの心の医療・教育センター）
第2回	インクルーシブ教育システムと特別支援教育の展開と制度 インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みの理解(石川衣紀/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第3回	障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活(1) 病弱・知的障害の子どもを中心に 知的障害・病弱等の子どもの学習及び生活上の困難(高橋甲介/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第4回	障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活(2) 肢体不自由・視覚・聴覚障害を中心に 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由の子どもの学習及び生活上の困難（鈴木保巳/教育学部）
第5回	特別支援教育の教育課程と個別の支援計画の作成・活用 特別支援教育の教育課程、個別の支援計画（教育学部/西村大介）
第6回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性(1) 自閉スペクトラム症を中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程（自閉スペクトラム症を中心に）(岩永竜一郎/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第7回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性(3) LD等を中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程（LD・発達性協調運動障害等を中心に）(岩永竜一郎/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第8回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性(2) ADHDを中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程（ADHDを中心に）(今村明/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第9回	障害のある子どもの地域支援（1）保護者支援 学校における保護者支援、ペアレントトレーニングなど(徳永瑛子/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第10回	障害のある子どもの地域支援（2）学校と関係機関との連携 特別支援教育コーディネーター、関係機関や家庭との連携による支援体制の構築(徳永瑛子/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第11回	発達障害のある幼児・児童・生徒の教育的支援（1） 通常学級・通級による指導における発達障害や軽度知的障害の子どもの支援の方法（教育学部教員/子どもの心の医療・教育センター）
第12回	発達障害のある児童・生徒の教育的支援（2） 特別支援学級と「自立活動」の教育課程上の位置づけの理解(高橋甲介/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第13回	教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援（2） 精神疾患の子どもと保護者の支援、リハビリテーション(保健学科教員/子どもの心の医療・教育センター)
第14回	教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援（1） 母国語や貧困、愛着障害の問題による子どもの生活上の困難や組織的対応の必要性（教育学部教員/子どもの心の医療・教育センター）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	自由 / optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	202405990001Z1	科目番号 / Course code	05990001
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Course title	●教育方法・技術論[上限外] (2022年度以降入学者) / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	教職課程関連科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	(令和4年度入学者) 多文化、経済、工学、環境、水産学部2年次以上の教員免許取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagasakicom4▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	nagasakicom4▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。(基礎的知識を身につける) 2. PCなどを活用して教材を作成することができる。(汎用可能な技能を身につける) 3. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。 4. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。(他者とも協働し指導案を検討する)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題60% (個人+グループワーク)、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前にLACS上に資料を掲載するため、予め読んでくること(2h) 事後に各回での授業資料の要点をまとめること(2h)		
キーワード/Keywords	授業設計、教材開発、ICT		
教科書・教材・参考書/Materials	参考図書 教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著 (北大路書房) 学習者とともに取り組む授業改善ー授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著 (学文社)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業は原則対面で実施します。 詳細は授業時やLACSで案内します。
学生へのメッセージ/Message for students	土曜・日曜・夏季休業中、8回分の授業を集中講義で実施します。また、講義だけではなくPCを活用した実習も含まれます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-2回	「教育方法・技術論」の目標と概要、特に、この授業展開の中心となる「教育工学」に関しての解説を行う。 また、生徒に求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）、教育方法の基礎的理論と実践を理解する。
3-4回	基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態（アクティブラーニング技法・協同学習の方法）、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成するため授業構想の検討、教材研究の方法について理解する。
5-6回	評価の方法、評価計画の立案（評価の観点と基準）について理解する
7-8回	生徒たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、ICTを利用した教育の方法、その活用のための情報モラル、デジタル教材作成法について学び、デジタル教材作成の実践（グループワークを含む）に取り組み発表する。

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	自由 / optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	202405990003Z1	科目番号 / Course code	05990003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● ICT活用の理論と実践[上限外] / Theory and Practice of ICT Utilization		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	瀬戸崎 典夫 / Setozaki Norio		
科目分類 / Course Category	教職課程関連科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	(令和4年度入学生) 多文化、経済、工学、環境、水産学部の2年次以上の教員免許状取得希望者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	setozaki ▲ nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構 2 階		
担当教員TEL/Tel	095-800-4189		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 4 限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ICTを活用した教育方法，教育技術をめぐる基礎理論を踏まえて，教育活動をささえる授業，学習観，教授・指導観，学習環境，教師としての成長を支援する省察といった，重要なテーマについての理論を確認するとともに，統合型校務支援システムの有効活用にも言及しつつ，今日の実践的課題を追究する．		
授業到達目標/Course goals	1. 知識・理解： ICTを活用した教育方法の理論と実践に関して，これまでに蓄積されてきた知見を知る． 2. 知識・理解： ICTを活用した教育方法の理論と実践に関して，これまでに蓄積されてきた知見の背景や文脈を理解するとともに，ICTを活用した校務の推進について理解する． 3. 専門的技能： ICTを活用した教育方法の理論と実践に関して，これまでに蓄積されてきた知見が，現代の子どもたちにとって適切かどうかを考えることができる． 4. 専門的技能： ICTを活用した教育方法に関して，これまでに積み重ねられてきた知見をふまえて，今日の教育実践や校務を支えるシステムをクリティカルに考えることができる．		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参画態度30%，授業内ワークシート30%，学期末レポート40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	LACS上に掲載された資料を確認して事前課題に取り組む(2h) 授業後に各回での授業資料の要点をまとめるとともに，レポート課題に取り組む(2h)		
キーワード/Keywords	ICT活用，教育方法，授業，学習観，学習環境，省察		
教科書・教材・参考書/Materials	参考図書 稲垣忠・佐藤和紀『ICT活用の理論と実践 DX時代の教師を目指して』北大路書房，2021年．		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更がある場合は、LACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	< Society5.0を見据えた教育の未来 > Society5.0の社会を想定した上で、学びの在り方や求められる人物像について考察する。また、共通して求められる力や、新たな社会を牽引する人材としての資質・能力の育成について議論し、学びの在り方の変革について考察する。
2回	< 現代社会におけるICTの役割 > 私たちの日常生活とテクノロジーとの関わりについて考察するとともに、少し先の未来についてイメージする。さらに、現代社会の教育における課題に目を向けるとともに、メディア社会の光と影についての議論を深める。
3回	< ICT活用の基本的理念 > ICT環境の必然性について、歴史的経緯や理論的基盤について解説する。また、知識獲得や運用の観点などから、本質的なICT活用について議論する。さらに、「主体的・対話的で深い学び」について、その背景や必然性、原理、手法について学ぶとともに、ICT活用とアクティブラーニングとの関わりについて、授業デザインの観点から考察する。
4回	< 教育における先端技術の活用・STEAM教育 > 先端技術を活用する意義について考察するとともに、教育ビッグデータやAI、VR/ARの教育利用について、具体的な事例をもとに学ぶ。また、STEAM教育による教科横断的な学びについて、実践的な視点から議論を深める。さらに、先端技術の活用やSTEAM教育の実現に向けて、企業や自治体、大学等の教育機関との連携についても視野に入れた、実社会における課題解決における授業デザインについて検討する。
5回	< 教師および児童生徒のICT活用 > ICT活用の実際について、教育目的との関連から紹介する。また、特別の支援を必要とする児童及び生徒に対するICT活用の意義と実践的な事例を示すことで、多様な学習に向けたICT活用について検討する。さらに、他者とのコミュニケーションを広げる場としてのICT活用や、表現の可能性を広げるツールとしての活用、思考を深めるための活用などに着目した議論を展開するとともに、統合型校務支援システムの有効活用についての理解を深める。
6回	< 児童生徒の情報活用能力の育成 > 一人一台端末による児童生徒の学びを中心に情報活用能力の育成を目指した実践事例について議論する。また、プログラミング教育等に言及し、Society5.0に向けた資質・能力の育成について考察を深める。さらに、情報モラルや、情報セキュリティについても具体的な事例をもとにした指導について議論する。
7回	< 学びを育てるICT環境 > ICTを活用した学習環境のデザインの紹介を通して、学びが育つ環境デザインの重要性について言及する。なお、学校内の人材や教材のみの活用に留まらず、ICT支援員などの外部人材や大学・企業・自治体等の外部機関と連携することによる、学習環境の構築についても議論しつつ、学校におけるICT環境の整備の在り方について検討する。また、主体的・対話的で深い学びを実現しようとする際の初等・中等教育段階における学校自体の構造設計などについても思考を広げる。
8回	< 省察の意義と本講義のまとめ > 教育活動における省察の重要性について学ぶとともに、振り返りのプロセスについて学ぶことによって、児童生徒だけではなく、教師としての成長について考察する。また、これまでの講義で学んだ内容をまとめるとともに、受講生間による学びの共有と議論によって、本講義における学習内容について考察を深める。